

『万葉古代学研究所彙報』

平成十三年度

九月一四日 財団法人奈良県万葉文化振興財団万葉古代学研究所
がオープンする。

所長 寺川眞知夫同志社女子大学教授

副所長 上野誠奈良大学助教授

次長 榊田好数(総務課長兼務)

研究員 松尾光(総括)・松田信彦(主任)・井上さやか

(以上、研究所研究班)

九月二三日 万葉古代学研究所オープン記念シンポジウムで、五

木寛之氏が基調講演、中西進館長のコーディネートで

猪熊兼勝橘女子大学教授・千田稔国際日本文化研究セ

ンター教授・坂本信幸奈良女子大学教授がパネルディ

スカッション。

一一月二一日 第一回万葉古代学研究所オープン記念公開講演会

「壬申の乱と万葉集」(金井清一京都産業大学教授)を

開催。

一一月二八日 第二回万葉古代学研究所オープン記念公開講演会

「奈良学からみた万葉集」(青山茂帝塚山短期大学名誉

教授)を開催。

一一月二五日 第三回万葉古代学研究所オープン記念公開講演会

「古代の奈良盆地と万葉集」(上田篤京都精華大学名誉

教授)を開催。

二月一日～二日 第八四回全国大学国語国文学会冬季大会を

招致し、第一・二日目に「万葉集を世界に開く」をテー

マとして公開講演会・懇親会・研究発表・シンポジウ

ムを開催。同時に「万葉文化館館蔵品特別展示」を開

催し、尼崎など七点を閲覧に供す。第三日目に、実

地見学会(飛鳥地域)を開催する。

二月九日 第四回万葉古代学研究所オープン記念公開講演会

「万葉集の色彩と染織」(堀尾真紀子文化女子大学教授)

を開催。

二月一六日 第五回万葉古代学研究所オープン記念公開講演会

「音楽からみた万葉集」(久保田敏子京都市立芸術大学

附属日本伝統音楽研究センター教授)を開催。

一月二八日 友の会共催・万葉文化をよむ会(以下「友の会共催」

と記す)で、松田信彦研究員が「記紀の成立をめぐっ

て」を講義。

二月七日 大亦観風『万葉集画撰』原画展にあわせ、「古典籍

特別展示」を開催。

二月九日 二十九人を万葉古代学研究所客員研究員に登録する。

二月 五日 友の会共催で、松尾光研究員が「木簡の魅力」を講義。

三月二二日 審議会を開催し、万葉古代学研究所主宰共同研究の研究計画案を採択する。

三月二五日 友の会共催で、井上さやか研究員が「一三〇〇年前への旅」を講義。

平成十四年度

四月 八日 友の会共催の「古事記をよむ」で、松田信彦研究員が「記紀神話入門」を講義。

五月一三日 友の会共催の「古事記をよむ」で、松田信彦研究員が「天地開闢神話」を講義。

六月 九日 万葉古代学研究所第一回主宰共同研究「ユーラシア大陸と万葉集Ⅰ」の第一回研究会を十二名で開催。研究所員のほか、岩城雄次郎日タイ文学者交流センター

主宰・王暁平帝塚山学院大学教授・金両基常葉学園大学教授・辰巳和弘同志社大学助教授・辰巳正明國學院大学教授・月本昭男立教大学教授・内藤磐早稲田大学高等学院教諭が参加。

六月一〇日 友の会共催の「古事記をよむ」で、松田信彦研究員が「国生み」を講義。

六月二四日 海外研修員として、劉雨珍研修員（南開大学副教授）を迎える。

七月 八日 友の会共催の「古事記をよむ」で、松田信彦研究員が「伊邪那美の死と黄泉の国」を講義。

八月 五日 友の会共催の「古事記をよむ」で、松田信彦研究員が「三貴種の出生」を講義。

八月 八日～十一日 第一回夏期合宿セミナーを開催。寺川真知夫所長が「日本靈異記にみえる防人」、上野誠副所長が「万葉びとの生活」など九講座。講師は木本好信甲

子園短期大学教授・藏中しのぶ大東文化大学教授・加藤静雄同朋大学名誉教授・菅野雅雄古事記学会代表理事・坂本信幸奈良女子大学教授・前田晴人大阪府立堺工業高校教諭・青木周平國學院大学教授。最終日に、葛城地方に実地研修。

八月三十一日～九月一日 万葉古代学研究所第一回主宰共同研究の第二回・第三回研究会を開催。講師は原山煌桃山学院大学教授・松村一男和光大学教授。

九月 二日 友の会共催の「木簡をよむ」で、松尾光研究員が「加賀郡勝永木簡と音声行政」を講義。

一〇月 七日 友の会共催の「木簡をよむ」で、松尾光研究員が「勤務評定木簡と官人社会」を講義。

一〇月二七日 万葉古代学研究所第一回主宰共同研究の第四回研究会を開催。講師は皆川隆一慶応義塾高校教諭。

二月二一日 友の会共催の「万葉集をよむ」で、井上さやか研究員が「額田王の謎」を講義。

二月 九日 友の会共催の「万葉集をよむ」で、井上さやか研究員が「柿本人麻呂とその時代」を講義。

二月二二日 万葉古代学研究所第一回主宰共同研究の第五回研究会を開催。講師は高橋孝信東京大学教授。

一月二二日 万葉古代学研究所第一回主宰共同研究の第六回研究会を開催。講師は栗原成郎創価大学教授。

一月一三日 友の会共催の「万葉集をよむ」で、井上さやか研究員が「山部赤人と天平万葉」を講義

二月一〇日 友の会共催の「万葉集をよむ」で、井上さやか研究員が「大伴坂上郎女と恋歌」を講義。

◆専任研究員のおもな業績

松尾光

〔編著／共著〕

○編著『早わかり古代史』（日本実業出版社刊）、平成十四年八月。

○共著『日本古代史の謎』（自由国民社刊）、平成十三年八月。

○共著『日本史講座 日本史古代（下巻）』（NHK学園発行）、平成十四年三月。

○共著『歴史人物の常識疑問』（新人物往来社刊）、平成十四年十二月。

〔研究論文〕

○『播磨国風土記』の神々と出雲」（『史聚』三十四号）、平成十三年十二月。

○「淳仁天皇の后をめぐって」（『翔』四十号）、平成十五年二月。〔その他〕

○「天岩戸神話に反映する魂振りと魂鎮めの祭儀」（『歴史と旅』二十八巻九号）、平成十三年八月。

○「謎の都・紫香楽宮はどこにあったか」（『歴史研究』四八三号）、平成十三年八月。

○「阿刀酒主・安都雄足の異数の出世」（『礫』一八〇号）、平成十三年十月。

○「歴代皇后人物系譜総覧〔30代額田部皇女～50代藤原乙牟漏〕」（『別冊歴史読本』二十七巻二十九号）、平成十三年十月。

○「厩戸皇子の立太子」（『別冊歴史読本』九十九号）、平成十四年二月。

○「額田姫王の基礎知識」（『歴史研究』四九一号）、平成十四年

四月。

○「物部氏の研究」(「別冊歴史読本」二十七卷十七号)、平成十四年六月。

○「加賀郡勝木簡の発見」(「歴史研究」四九三号)、平成十四年六月。

○「藤原京の盛衰」(「歴史研究」四九四号)、平成十四年七月。

○「古代びとの心のリズム」(「礫」一九〇号)、平成十四年八月。

○「古代の豪族たち」(「別冊歴史読本」二十七卷二十八号)、平成十四年九月。

○「大化元号と『戊申年』木簡」(「歴史研究」五〇二号)、平成十五年二月。

松田 信彦

〔研究論文〕

○『『日本書紀』神代巻における卜部家諸本の問題——段落意識に関する疑問——』(『菅野雅雄博士古稀記念古事記・日本書紀論究』所収、おうふう刊)、平成十四年三月。

○「神代紀、海宮遊幸章(第十段)、第4の一書の性格——『五云』と関連して——」(「國學院雑誌」一〇四卷二号)、平成十五年二月

〔その他〕

○「描かれた万葉歌／赤人の吉野」(「天飛ぶ」二号)、平成十四年七月。

井上さやか

〔研究論文・目録〕

○「神岳に登りて作る歌の景物描写——赤人歌の叙景の質についての一考察——」(「上代文学論究」十号)、平成十四年三月。

○「赤人関係文献目録」(『セミナー万葉の歌人と作品(第七巻)』所収、和泉書院刊)、平成十三年九月。

〔その他〕

○「描かれた万葉歌／天の川のほとり」(「天飛ぶ」三号)、平成十四年七月。